追加情報

（福祉施設の清算）

京都年金基金センター「らんざん」は平成22年度をもって福祉施設としては廃止することとし、当会計年度の清算の結果発生した剰余金については厚生年金基金基本年金経理で受入れ年金資産として活用する。

貸借対照表の要旨

（支払保証経理）　（平成23年３月31日現在）　（単位：百万円）

資産勘定		負債勘定	
流動資産	61	**流動負債**	50
預貯金	53	未払金	3
未収拠出金	9	未払運用報酬等	5
固定資産	34,837	未払繰入金	42
信託資産	34,837	職員預り金	0
		支払備金	453
		責任準備金	30,409
		基本金	3,987
		当年度剰余金	3,987
計	34,898	**計**	34,898

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

損益計算書の要旨

（支払保証経理）　（自　平成22年４月１日　至　平成23年３月31日）　（単位：百万円）

費用勘定		収益勘定	
支払保証給付費	581	拠出金	170
運用報酬	5	運用収益	730
事務費	43	雑収入	3
繰入金	42	別途積立金取崩金	7,754
雑支出	0		
責任準備金増加額	4,000		
当年度剰余金	3,987		
計	8,657	**計**	8,657

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

重要な会計方針

１．信託資産の評価基準及び評価方法

時価法によっている。

２．消費税等の処理方法

税込方式によっている。

注記事項

（金融商品関係）

１．金融商品の状況に関する事項

当連合会は、支払保証事業における、支払保証給付を確実に実施するための準備金を信託資産として積み立てて運用している。信託資産は、市場リスク等に晒されているが、支払保証事業に係る資産運用に関する方針に従い、安全性の高い債券を運用対象とし、支払保証事業運営委員会の決定のもと年金特定信託契約により管理・運用を行っている。

２．金融商品の時価等に関する事項

平成23年３月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
⑴信託資産	34,837	34,837	—

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴信託資産

債券の時価については、店頭取引価格によっている。

貸借対照表の要旨

（共済経理共済会計）　（平成23年３月31日現在）　（単位：百万円）

資産勘定		負債勘定	
流動資産	62	**流動負債**	0
投資	121	**給付費準備金**	182
計	182	**計**	182

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

損益計算書の要旨

（共済経理共済会計）（自　平成22年４月１日　至　平成23年３月31日）　（単位：百万円）

費用勘定		収益勘定	
共済給付費	17	共済掛金収入	24
事務費	3	雑収入	0
繰入金	5		
計	25	**計**	25

注）百万円未満四捨五入のため計が一部不一致の場合がある。

重要な会計方針

１．有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）を採用している。

２．給付費準備金の計上基準

基金及び連合会役職員の共済金支給に備えるため、当年度剰余金相当額を繰入れている。

３．消費税等の処理方法

税込方式によっている。